

公益社団法人 郡山青年会議所  
2014年度 事業報告

年間事業報告

月	日	事業内容	
1月	4日	第1回臨時常任理事会	
	4日	第1回臨時理事会	
	5日	(公社)会津青年会議所新年会	
	6日	2014新春賀詞交歓会	
	6日	OB会定時総会・新年会	
	7月	第1回常任理事会	
	8日	街こおりやま新年会	
	10日	郡山医師会新年会	
	11日	県南6JCエリア会議	
	15日	平成25年度 郡山市交通対策協議会臨時総会	
	15日	郡山市PTA連合会新春教育懇談会	
	16日	郡山ロータリークラブ卓話	
	16日	「つながろうふくしま 福島再興祭り2014」運営委員会	
	16日	福島の未来を考える青年団体協議会 新年会	
	17月	第1回理事会	
	18日	郡山歯科医師会新年会	
	19日	本名徹次を囲む会2014	
	20日	郡山商工会議所青年部新年会	
	21日	(一社)もとみや青年会議所 新年会	
	21日	文団連新春交流会	
	22日	郡山市商店街連合会新年会	
	23日	京都会議 23日～26日	
	27日	知事を囲む新春議員懇談会	
	27日	2014年度 郡山青年会議所新年会	
	28日	第2回財政審査会議	
	30日	農業青年会議所設立40周年記念祝賀会	
	30日	1月例会・定時総会	
	31日	(公社)いわき青年会議所新年会	
	31日	(公社)白河青年会議所新年会	
	2月	2日	第1回会員会議所会議
		2日	福島ブロック協議会「新春のつどい」
3日		第2回常任理事会	
6日		「久米正雄先生・宮本百合子先生」勉強会	
8日		東北ゼミナール委員会開校式	
10日		第9回B-1グランプリin郡山 実行委員会設立準備委員会	
14日		タクシー事業適正化・活性化協議会	
14日		第1回郡山JCOB役員並びに現役役員との懇談会	
18日		PEP Kids Koriyama 支援協力	
18日		国土緑化郡山市推進委員会	
19日		第2回県南6JCエリア会議	
20日		郡山青年会議所会員と郡山市若手職員による懇談会	
22日		新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー・22日～23日	
23日		GBP郡山	
25日		2月例会	
26日		郡山警察署・郡山北警察署幹部並びに青年警察職員との懇談会	
26日	第3回財政審査会議		
28日	「B-1グランプリin郡山開催に伴う「おもてなしについてのアンケート」及び「広報部会」		
28日	第3回郡山北警察協議会		
3月	1日	全国合唱祭歓迎会	
	1日	福魂祭 総決起大会	
	2日	久米正雄先生・宮本百合子先生墓参	
	2日	平成26年度あやめ会合同新年会	
	2日	第2回会員会議所会議	
	3日	「2014 JCI ASPAC山形大会決起集会」	
	4日	東北地区協議会正副会議	
	4日	丹治一郎会頭勲章お祝い会	
	4日	第3回常任理事会	
	6日	道路整備美関する要望活動	
	7日	(学)こおりやま東都学園郡山健康科学専門学校 卒業式	
	7日	B-1グランプリ宿泊予定者受付業務に係る業者プレゼンテーション	

	8日	復興創造フォーラム2014	8日～9日
	8日	自衛隊郡山音楽祭	
	9日	第145回総会	
	11日	福魂祭 FUKUSHIMA SOUL	
	18日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	19日	第2回わんぱく相撲ブロック大会実行委員会	
	22日	ふくしま再興まつり2014	22日～23日
	25日	2014年度 3月例会並びに鳥居徹也氏講演会	
	26日	県南6JCエリア会議	
	27日	郡山商工会議所通常総会懇談会	
	27日	第4回財政審査会議	
	30日	第1回アカデミー委員会	
4月	1日	第4回常任理事会	
	6日	(学)こおりやま東都学園郡山健康科学専門学校 入学式	
	6日	第3回会員会議所会議	
	7日	第49回こどもまつり第1回実行委員会	
	9日	FSGカレッジリーグ合同入学式	
	12日	新東北3つの夢決起大会	
	13日	陸上自衛隊郡山駐屯地創立61周年記念事業	
	13日	平成26年度郡山市文化団体連絡協議会	
	15日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	16日	4月例会・チェリーパーティー	
	17日	開成山公園「桜のライトアップ点灯式」	
	20日	日本大学工学部 屋内相撲場落成記念 第1回北桜杯少年相撲大会	
	22日	郡山商工会議所青年部定時総会懇親会	
	23日	「第53回久米賞・百合子賞」実行委員会	
	25日	第1回郡山北警察署協議会及び懇親会	
	25日	第5回財政審査会議	
	26日	(一社)浪江青年会議所創立35周年記念式典並びに祝賀会	
	27日	福島ブロック協議会しやくなげCUP	
	28日	県南6JCエリア会議	
5月	1日	第5回常任理事会	
	2日	全国一斉！国民による未来創造プロジェクト～この国のあるべき姿を描こう～	
	5日	第49回郡山こどもまつり	
	9日	郡山市地域道路整備促進期成同盟会通常総会	
	9日	郡山まちづくり推進協議会通常総会	
	10日	東北地区 第4回ゼミナール委員会	
	11日	第4回会員会議所会議	
	13日	会頭公式訪問	
	14日	第5回理事会	
	14日	郡山うねめ祭り実行委員会	
	15日	郡山商工団体暴力追放対策懇談会・郡山地区警察官友の会合同総会	
	16日	郡山市国際交流協議会理事会・総会	
	18日	国際ソロプチミスト郡山30周年式典・祝宴	
	18日	(一社)相馬青年会議所45周年記念式典	
	20日	郡山商工会議所女性会通常総会新年会	
	21日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	21日	「ふくしまディステーションキャンペーン」全国宣伝販売促進会議	
	22日	2014年度5月例会	
	23日	B-1グランプリin郡山実行委員会 「第2回広報部会」	
	24日	国家グループ 主権国家確立委員会	
	25日	第17回わんぱく相撲郡山場所	
	25日	(一社)会津喜多方青年会議所40周年記念式典	
	26日	第2回会員拡大会議	
	28日	郡山商工会議所 通常議員総会 懇親会	
	28日	第6回財政審査会議	
	29日	第1回郡山警察署連絡協議会	
	29日	第53回「久米賞・百合子賞」審査委員顔合わせ会	
	30日	「ごみゼロの日」ポイ捨て防止啓発キャンペーン	
6月	2日	第6回常任理事会	
	3日	郡山市観光協議会第1回理事会・総会	
	3日	郡山市まちづくり推進協議会事業運営委員会	

	3日	郡山市商店街連合会平成26年度通常総会懇親会	
	4日	2014 JCI ASPAC 山形大会	4日～7日
	10日	暴力団追放郡山市民会議役員会及び総会	
	15日	第17回わんぱく相撲福島ブロック大会	
	17日	第1回OB現役交流会	
	18日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	20日	郡山うねめ祭り実行委員会企画部会	
	21日	心のレシピ募集・主旨説明会並びに講演・講習会	
	22日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動	
	22日	第2回臨時常任理事会	
	22日	第3回臨時理事会	
	24日	県南6JCエリア会議	
	24日	第1回選挙管理委員会	
	25日	福島の未来を考える青年団体協議会 新年会	
	26日	SL福島プレDC号体験乗車	
	26日	第7回財政審査会議	
	29日	参加者説明会第1回スマイルキッズアドベンチャー	
	29日	本名徹次を囲む会	
	30日	福島県立郡山養護学校総会	
	30日	6月例会並びに五日市剛氏講演会	
7月	1日	第7回常任理事会	
	3日	第2回選挙管理委員会	
	5日	第5回会員会議所会議	5日～6日
	5日	福島ブロック大会inいわき	
	10日	B-1グランプリ100日前 駅前PR清掃	
	11日	みんなで交通事故をなくそう郡山市民大会	
	12日	心のレシピ食に関する魅力発見 見学	12日～13日
	12日	第2回スマイルキッズアドベンチャー	
	15日	第3回選挙管理委員会	
	16日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	17日	中間監査	
	17日	郡山市青少年問題協議会	
	19日	サマーコンファレンス	19日～20日
	24日	八戸JC来郡	
	24日	第3回会員拡大会議	
	25日	2014年度7月例会並びに中島恵子氏講演会	
	26日	常任理事・理事メンバー暑気払い	
	28日	明るい祭礼推進協議会監査会	
	28日	第8回財政審査会議	
	29日	まちなか音ステージ実行委員会	
	31日	B-1グランプリ実行委員長事務局来局	
	31日	県南6JCエリア会議	
8月	1日	第8回常任理事会	
	3日	第30回わんぱく相撲全国大会	
	4日	B-1グランプリin郡山実行委員会「第3回広報部会」	
	6日	地球にやさしい”ふくしま”県民会議県中地方会議	
	9日	奈良JCと交流会及びうねめまつり踊り流し参加	
	9日	郡山市こおりやま文学の森資料館企画展「いわむらかずお絵本原画展」内覧会	
	19日	明るい祭礼推進委員会	
	20日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	21日	第3回スマイルキッズアドベンチャー	21日～23日
	24日	福島ブロック協議会福島ブロック大会「たからいち」	
	26日	芸姑連「感謝のつどい」	
	27日	第9回財政審査会議	
	28日	2014年度8月例会及び藤田浩志講演会	
	30日	心のレシピ選考 二次選考	
	30日	(公社)いわき青年会議所 創立10周年記念式典並びに祝賀会	
	30日	第41回東北総合体育大会 相撲協議	
	31日	福島ブロック協議会 防災プロジェクト	
	31日	すりこぎクラブ 福島ブロック協議会 予選会	
9月	1日	第9回常任理事会	
	3日	第53回「久米賞・百合子賞」第一次審査 読み合わせ会	

	4日	県南6JCエリア会議	
	6日	東北青年フォーラムin湊町酒田	6日～7日
	8日	奈良公式訪問	8日～9日
	11日	郡山北警察署協議会	
	12日	第9回理事会	
	13日	第6回会員会議所会議	
	14日	第14回うつくしまYOSAKOIまつり開会式	
	16日	郡山うねめまつり実行委員会企画部会	
	16日	第2回郡山警察署協議会	
	17日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	21日	郡山フードフェスタ	
	25日	ビックツリーページェント・フェスタinKORIYAMA実行委員会	
	25日	ウィンターフェスタinKORIYAMA実行委員会	
	25日	文団連創立60周年記念式典祝賀会	
	25日	第4回会員拡大会議	
	26日	新入会員候補者面接	
	26日	第10回財政審査会議	
	28日	第12回郡山の秋祭り・子供相撲大会開催	
	28日	(一社)奈良青年会議所創立55周年記念式典	
	30日	2014年度 9月例会・定時総会	
10月	1日	第10回常任理事会	
	3日	平成26年度郡山市豊かな長寿社会いきいきふれあいのつどい	
	4日	B-1グランプリ大会運営ボランティア説明会	
	6日	第53回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会	
	9日	(公社)日本青年会議所 第63回全国大会松山大会	9日～12日
	14日	「小学生に関する標語」審査会	
	14日	第10回理事会	
	15日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	15日	県南6JCエリア会議	
	15日	第5回会員拡大会議	
	16日	菓子部会郡山秋季総会・エクスカーション	16日～17日
	17日	B-1グランプリin郡山前夜祭	
	18日	B-1グランプリin郡山	18日～19日
	18日	まちなか音ステージ&こおりやまブランドマルシェ	
	18日	第7回会員会議所会議	
	19日	第2回OB現役交流会	
	21日	じゃがいもクラブゴルフコンペ	
	25日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動	
	26日	東日本大震災復興市民総決起大会実行委員会	
	27日	2014年度10月例会永山久夫氏講演会・パネルディスカッション	
	27日	第2回新入会員候補者面接	
	28日	美しい日本語表現コンテスト	
	29日	第53回「久米賞・百合子賞」最終審査会	
	29日	第2回郡山市青少年問題協議会	
	30日	国際ソロプチミスト郡山チャリティーパーティー	
	30日	長嶺東夫君を励ます会	
	30日	第11回財政審査会議	
11月	1日	日本JC・日本JCシニアクラブ会員拡大セミナー	
	4日	郡山市制施行90周年・合併50周年記念式典	
	4日	第11回常任理事会	
	7日	第37回郡山市青少年健全育成推進大会	
	8日	新風杯ソフトボール大会	
	10日	福島県倫理法人会設立20周年記念式典	
	12日	「小学生に関する標語」表彰式	
	13日	県南6JCエリア会議	
	16日	第8回会員会議所会議	
	16日	福島ブロック協議会2014年度「卒業式・事業報告会」	
	17日	郡山ナンバー誕生祭	
	19日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	20日	第6回会員拡大会議	
	21日	東日本大震災復興市民総決起大会実行委員会「委員長・副委員長会議」	
	21日	ビックツリーページェント・フェスタinKORIYAMAオープニングセレモニー	

	23 日	11月例会並びに第53回「久米賞・百合子賞」授賞式	24日～29日
	24 日	JCI世界会議inライブチヒ	
	25 日	第25回暴力団根絶福島県民大会	
	26 日	第12回財政審査会議	
	28 日	OB忘年会	
12月	1 日	第3回新入会員候補者面接	
	2 日	第12回常任理事会	
	4 日	第4回新入下院候補者面接	
	5 日	東北地区協議会会員会議所会議	
	9 日	安積黎明高等学校合唱部金賞受賞祝賀会	
	9 日	第5回新入会員候補者面接	
	13 日	12月臨時総会	
	13 日	2014年度12月例会・卒業式	
	17 日	PEP Kids Koriyama 支援協力	
	20 日	事務局清掃	
	26 日	第13回財政審査会議	

公益社団法人 郡山青年会議所 2014年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員ひとづくり委員会
1月	9日 第1回委員会 20日 第2回委員会 文書発送 27日 新年会開催 29日 1月例会・定時総会	9日 委員会の開催(第1回) 21日 委員会の開催(第2回)
2月	3日 新春のつどい 4日 第3回委員会 18日 第4回委員会 文書発送 24日 2月例会開催	5日 委員会の開催(第3回) 17日 委員会の開催(第4回) 22日・23日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同) 28日 会員拡大会議の開催(第1回) 28日 委員会の開催(第5回)
3月	6日 第5回委員会 7日～8日 復興創造フォーラム 17日 第6回委員会 文書発送 24日 3月例会	6日 委員会の開催(第6回) 26日 委員会の開催(第7回)
4月	3日 第7回委員会 15日 第8回委員会 文書発送 16日 4月例会開催	7日 委員会の開催(第8回) 15日 委員会の開催(第9回) 16日 4月例会チェリーパーティーの開催 23日 委員会の開催(第10回)
5月	7日 第9回委員会 15日 第10回委員会 文書発送 22日 5月例会開催	7日 委員会の開催(第11回) 20日 委員会の開催(第12回) 26日 会員拡大会議の開催(第2回)
6月	3日 第11回委員会 16日 第12回委員会 文書発送 30日 6月例会の開催	3日 委員会の開催(第13回) 16日 委員会の開催(第14回) 17日 OB・現役交流会の開催(第1回) 25日 委員会の開催(第15回) 30日 6月例会の開催
7月	4日 第13回委員会 15日 第14回委員会 文書発送 25日 7月例会開催	19日・20日 サマーコンファレンスへの引率 24日 会員拡大会議の開催(第3回) 24日 委員会の開催(第16回)
8月	4日 第15回委員会 9日 奈良JC来訪・うねめまつり参加引率 18日 第16回委員会 文書発送 28日 8月例会の開催	6日 委員会の開催(第17回) 27日 委員会の開催(第18回)
9月	2日 第17回委員会 8日～9日 奈良公式訪問 19日 第18回委員会 文書発送 30日 9月例会・定時総会開催	25日 会員拡大会議の開催(第4回) 25日 委員会の開催(第19回)
10月	3日 第19回委員会 17日 第20回委員会 文書発送 27日 10月例会開催	15日 会員拡大会議の開催(第5回) 15日 委員会の開催(第20回) 21日 OB・現役交流会の開催(第2回)
11月	7日 第21回委員会 17日 第22回委員会 文書発送 23日 11月例会の開催	12日 委員会の開催(第21回) 20日 会員拡大会議の開催(第6回) 20日 委員会の開催(第22回)
12月	9日 第23回委員会 13日 12月臨時総会・例会・卒業式開催 15日 第24回委員会 22日 第25回委員会 文書発送	17日 会員拡大会議の開催(第7回) 17日 委員会の開催(第23回)

公益社団法人 郡山青年会議所 2014年度 各委員会月別事業報告書 No.2

	発信力創造委員会	心の通うまちづくり委員会
1月	第1回委員会開催9日 第2回委員会開催15日 第3回委員会開催21日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎1月広報誌の発行	◎9日 第1回委員会開催 ◎21日 第2回委員会開催 ◎24日～26日 京都会議引率
2月	第4回委員会開催4日 第5回委員会開催18日 第6回委員会開催24日 第7回委員会開催28日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同) ◎2月例会の企画・設営 ◎第53回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置	◎4日 第3回委員会開催 ◎19日 第4回委員会開催
3月	第8回委員会開催7日 第9回委員会開催12日 第10回委員会開催28日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎久米正雄先生・宮本百合子先生墓参	◎7日 第5回委員会開催 ◎11日 福魂祭 ◎19日 第6回委員会開催
4月	第11回委員会開催3日 第12回委員会開催17日 第13回委員会開催28日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎第53回「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会の開催 ◎審査委員初顔合わせ会	◎2日 第7回委員会開催 ◎17日 第8回委員会開催 ◎18日 第9回委員会開催
5月	第14回委員会開催9日 第15回委員会開催26日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎5月広報誌の発行	◎2日 第10回委員会開催 ◎20日 第11回委員会開催
6月	第16回委員会開催6日 第17回委員会開催10日 第18回委員会開催19日 ◎ホームページの企画・運営・管理	◎6月1日～7月21日まで 心のレシピ事業 募集期間 ◎5日 第12回委員会開催 ◎26日 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 ◎19日 第13回委員会開催 ◎心のレシピ事業 趣旨説明会並びに講演・講習会
7月	第19回委員会開催3日 第20回委員会開催24日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎福島ブロック大会引率(いわき)	◎4日 第14回委員会開催 ◎12日 心のレシピ事業 食に関する魅力再発見 見学 ◎16日 第15回委員会開催 ◎7月22日～8月2日まで 心のレシピ事業 第一次選考
8月	第21回委員会開催11日 第22回委員会開催26日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎8月広報誌の発行	◎4日 第16回委員会開催 ◎19日 第17回委員会開催 ◎28日 8月例会企画運営(藤田浩志氏講演会開催) ◎30日 心のレシピ事業 第二次選考
9月	第23回委員会開催3日 第24回委員会開催25日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎「久米賞・百合子賞」応募締め切り、一次審査 ◎第53回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 ◎第53回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催	◎2日 第18回委員会開催 ◎6日、7日 東北青年フォーラム引率 ◎16日 第19回委員会開催 ◎21日 郡山フードフェスタ事業(心のレシピ事業 最終選考) ◎9月25日～11月26日 心のレシピ事業 冊子作成(並びに
10月	第25回委員会開催22日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎第53回「久米賞・百合子賞」最終審査会の開催	◎6日 第20回委員会開催 ◎18日、19日 B-1グランプリin郡山 開催協力 ◎20日 第21回委員会開催 ◎26日 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 ◎26日 第22回委員会開催 ◎27日 10月例会企画運営(永山久夫氏講演会・パネルディスカッション開催)
11月	第26回委員会開催20日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎11月例会の企画・設営 ◎第53回「久米賞・百合子賞」授賞式	◎10日 第23回委員会開催 ◎19日 第24回委員会開催
12月	第27回委員会開催12日 第28回委員会開催22日 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎12月広報誌発行 ◎第53回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催	◎9日 第25回委員会開催 ◎16日 第26回委員会開催

青少年育成 委員会	
1月	17日 委員会の開催(第1回) 23日 委員会の開催(第2回)
2月	4日 委員会の開催(第3回) 20日 委員会の開催(第4回)
3月	6日 委員会の開催(第5回) 11日 「福魂祭 FUKUSHIMA SOUL」キャンドルナイト設営 (ビックパレット)
	20日 委員会の開催(第6回) 24日 3月例会の設営(労働福祉会館)
4月	4日 委員会の開催(第7回)
	18日 委員会の開催(第8回)
5月	5日「第49回郡山市こどもまつり」への参加・設営(開成山野球場)
	7日 委員会の開催(第9回) 20日 委員会の開催(第10回)
	25日 わんぱく相撲郡山場所開催(郡山相撲場)
6月	9日 委員会の開催(第11回)
	15日 第17回わんぱく相撲福島ブロック大会郡山場所設営(郡山相撲場)
	19日 委員会の開催(第12回) 25日 委員会の開催(第13回)
	29日 参加者説明会・第1回スマイル・キッズ・アドベンチャー開催 (ミュージカルがくと館)
7月	8日 委員会の開催(第14回)
	12～13日 第2回スマイル・キッズ・アドベンチャー開催 (郡山市少年湖畔の村)
	23日 委員会の開催(第15回) 25日 7月例会の設営(ベルヴィ郡山館)
8月	3日 わんぱく相撲全国大会引率(両国国技館)
	6日 委員会の開催(第16回)
	18日 委員会の開催(第17回) 21～23日 第3回スマイル・キッズ・アドベンチャー開催(奈良市周辺)
9月	4日 委員会の開催(第18回)
	19日 委員会の開催(第19回)
10月	3日 委員会の開催(第20回)
	10～12日 全国大会松山大会への引率 18～19日 B-1グランプリ(開成山公園周辺)
	22日 委員会の開催(第21回)
11月	10日 委員会の開催(第22回) 30日 委員会の開催(第23回)
12月	4日 委員会の開催(第24回) 16日 委員会の開催(第25回)

# 2014年度 総務委員会

委員長：有我 庸平

副委員長：棚木 敏彦 増子 卓矢 長井 勝義

★委員会スローガン

## こん ごう ふ え 金 剛 不 壊

～ひかり輝く灯となるために～

### ★ 事業方針

青年会議所運動において、総務委員会はLOMの要であり、常に重要な立場で活動の下支えをしてきた。郡山青年会議所がこのまちを、人が集い、笑顔あふれ、心が通い合う素晴らしいまちにする為には、我々メンバーの一人ひとりがひかり輝かなければならないと考える。総務委員会はLOMメンバーの「心」のつながりを通じて「絆」を結ぶことを最大のテーマとし、一年間LOMの要として活動する。

年間を通じ、総務委員会は各種事業へ積極的に参加することは勿論、LOMメンバーとのコミュニケーションを率先して図り「心」をつなげ「絆」の力をより一層強める。また50有余年のLOMの歴史を学び、その歴史を培ってこられた先輩諸兄へ尊敬の念を持ちコミュニケーションを図り、より良い関係の構築につとめる。さらに、姉妹締結40周年を迎える奈良青年会議所との交流を次世代につなげる為、互いのうねめまつりによる交流を行い、新入会員同士の相互理解を深め、それを通じて奈良青年会議所メンバーと、さらに強く「心」をつなげ「絆」を結んでいく。

また、スタッフの教育意識の向上並びに資質向上はもちろんのこと、新入会員が互いに切磋琢磨できるというだけでなく、教える立場としても気づきを得て、自らを律することができる教育環境を構築する。その中で、新入会員には毎月の例会設営や各種事業、また遠征事業等への積極的な参加にくわえて、入会初年度ならではの経験をすることにより、青年会議所の三信条である『修練』『奉仕』『友情』の精神をしっかりと理解してもらい「青年会議所に入って本当に良かった」と、一人でも多くのメンバーに言ってもらえるように活動する。

それにより成長した自分を一年後に実感することで、郡山青年会議所メンバーとして誇りと使命感を持つ未来を見据えた地域リーダーの育成につなげる。そしてその力こそが、地域社会を照らすひかり輝く灯となり、明るい豊かな社会の実現につながる。

### ★ 事業計画

〔開催予定月〕

（ 事業予算 ）

- |                                     |         |            |
|-------------------------------------|---------|------------|
| 1. 新入会員の教育・指導                       | 〔通年〕    |            |
| 2. 例会の設営                            | 〔通年〕    | (70,000円)  |
| 3. 新年会の設営                           | 〔1月〕    |            |
| 4. 定時総会の設営                          | 〔1月・9月〕 |            |
| 5. 5月例会の企画・設営                       | 〔5月〕    | (40,000円)  |
| 6. うねめまつり参加引率                       | 〔8月〕    |            |
| 7. 奈良公式訪問                           | 〔9月〕    |            |
| 8. 卒業式の企画運営                         | 〔12月〕   | (150,000円) |
| 9. 文書発送作業                           | 〔毎月15日〕 |            |
| 10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務 |         |            |

1 1. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

1 2. 会員拡大に関する情報収集 [通年]

1 3. その他理事長所信に基づき行なう事業

[事業予算合計] (260,000円)

## 1. 新入会員の教育・指導

一年を通し新入会員には、色々な経験を積んでもらうことができました。本年度は、途中入会も含め当初5名の新入会員から10名の新入会員までメンバーが増え当初メンバーから途中入会メンバーまで一致団結し活動及び運動することができた。

## 2. 例会の設営

### ○1月例会

2014年度最初の例会設営となり、スタッフメンバーまた新入会員も良い緊張感を持ち設営することができた。設営にあたり、細かい気遣いの大切さを感じた。二瓶理事長より『三つの心』のお話を頂き一年間JC運動をするあたり非常に理事長の想いの詰まったご挨拶を頂いた。会務報告では各委員長から本年度の委員会スローガンまた委員会の事業方針など本年度の意気込みが発表され大変実りある例会となった。一年間LOMの支えとなる総務委員会にならなければならないと感じた例会であった。

### ○2月例会の設営

新入会員初の設営で開催された2月例会であった。リハーサル時間が少なかったが、それを感じさせることなくきびきびとした緊張感ある例会の設営を心がけ大きいミスもなく設営することができた。山形JCメンバーの2014年度JCI ASPACのご依頼という急な対応もあったが、ほぼ予定時間で終了することができ、市長講演会へつなげることができた。公開市長講演会ということで多数の一般市民にご来場頂き郡山市制の方向性について市長よりご講演を頂き市民と行政の絆を結ぶ一助になった。

### ○3月例会の設営

2月例会に続き一般公開例会となった3月例会では、ビックパレットふくしまを会場とし現地調査や当日のリハーサルの時間をとることができ、各メンバーが自分の役割を認識ししっかりとした設営ができた。現地調査の段階から担当委員会と入念な打ち合わせをすることができ今後各委員会と総務委員会の絆を強く結び連携していかなければならないと感じた公開例会となった。

### ○4月例会チェリーパーティー

本年度は新しい設えで開催された、4月例会チェリーパーティーであった。桜の見える会場を使用しOB会員の皆様と親睦を深めることができた。例会では、事前に準備をしっかりしていた結果大きなミスもなく設営することができたが、チェリーパーティーでは、事前に準備し細かい部分まで確認に確認をすることの重要性を感じた。特に新しく使用する会場では、担当委員会との打ち合わせ及び、会場との打ち合わせも入念にする必要があるため、今後は適切な設営ができるようにこの経験を活かしていかなければならないと感じた例会となった。

### ○5月例会の設営

5月例会では、本年度も約半年が過ぎようとする今、LOMメンバーが「心」をつなぎ「絆」を結び今後の運動へ繋げるために開催された「2014年度5月例会～『絆』の力 スポーツを通じて一致団結～」においては、メンバーの皆様のご参加を頂き盛會に終えることができた。理事長の掲げる「絆」をテーマにスポ

一ツを通じ委員会の垣根を越えLOMメンバーが非常に楽しく「絆」を結ぶことができた。

#### ○6月例会の設営

本年度、3度目の公開例会となった6月例会では多数の一般市民にご来場頂き大変盛会に終えることができた。例会においては、ブロック大会のご依頼もあり予定していたタイムスケジュールより少々時間が伸びてしまった。これから各種大会のご依頼等が予測されるが臨機応変に対応し、時間内にすべてを収められるようにしなければならない。

その為には事前に担当委員会と現地調査は勿論ながらタイムスケジュール等も無理のない設定をする必要もあり準備の大切さを感じた例会となった。

#### ○7月例会の設営

本年度7回目の例会設営となった「心と体のバランス整える健康ヨガ教室」は、利用が初となる会場にて開催され、担当委員会と入念に現地調査及び打合せをしたことにより、大きなミスもなくスムーズに開催することができた。当日は次年度理事長の発表もあり、厳格な設えのもと当選証書授与も行われた。リハーサル等新入会員が率先し行い、7月例会は大変実のあるものになった。今後もしっかりとした事前準備とミスのない設営を行い、さらに一致団結して総務委員会を盛上げLOMの要となれるよう邁進して行くことを決意した例会となった。

#### ○8月例会の設営

藤田浩志氏を講師としてお招きし、今年4度目の公開となった8月例会では、2015年度ブロック大会のPRもあったが事前の現地調査からPRなどの時間配分も考え準備することができ大きく時間も遅れることなく開催することが出来た。講演会へのスムーズな設営もリハーサルをすることにより的確に対応できた。新入会員も率先して行動し責任を持った行動ができるようになってきたことが非常に感じられた例会となった。今後も事前準備とリハーサルの重要性を理解し設営していかなければならないと感じる例会となった。

#### ○9月例会の設営

9月例会では、事前の準備をしっかりすることにより、当日大きなミスもなく設営することが出来た。新入会員も麗華設営を理解し的確に行動することができた。この経験を活かし今後も例会設営において緊張感を持った行動ができるよう気持ちを引締め、LOMの模範となるよう行動しなければならないと感じた例会となった。

#### ○10月例会の設営

本年度も残り3か月となった10月例会では、永山久夫氏をお招きしての公開講演会を開催した。今回は講演会後の例会となり、講演会前に例会設営をする早い時間からの準備となった。事前準備をしっかりと行い当日は、ミスもなく設営することが出来た。タイムスケジュールなど予定時間より伸びてしまったが、会場の使用時間内に撤収もでき新入会員も各々にセレモニーの意味や設営の中での反省点など考えることができ、非常に気付きそして学びを得られた例会となった。今後の設営においても、各々の役割をはたし、臨機応変に対応していくためにも良い経験を得られた。

#### ○11月例会の設営

11月例会では、今年初の利用となる安積歴史博物館を使用した例会となった。事前の現地調査を行い、リハーサルをすることで当日ミスもなく設営することができた。新入会員が担当を持つ最後の例会であったが、

10月例会で得られた気付きを活かし当日はセレモニーなどLOMの模範となる行動を示すことで、今年一年間の経験を発揮でき非常に良い例会とすることができた。

### ○12月例会の設営

12月例会では、二瓶理事長より本年度一年間を振り返り感謝のお言葉を頂き、各委員長及び出向者からも一年間の報告を頂いた。例会では一年間の集大成ということで、最後の設営にふさわしく緊張感と凛とした空気の中開催することができた。二瓶理事長からご臨席頂いた歴代理事長の介添えを頂き無事成田次年度理事長へプレジデンシャルリースの伝達をすることができた。

### 3. 新年会の設営

京都会議の翌日というタイトなスケジュールの中、委員会メンバーが入念に準備し、多くのご来賓を迎え2014年度二瓶理事長体制及び所信またスローガンでもある、今こそ見せよう！『絆』の力～心の通う笑顔と活気溢れるこおりやまの創造に向けて～を対外へ発信することができた。設営面においては、LOMメンバー丸となり郡山青年会議所メンバーのおもてなしの心を持ってご来賓の皆様と接することが出来た。新入会員には、初めての対外的な事業であったが、この新年会でメンバーの事業へ真摯に取り組む姿を見てもらうことができ、それぞれに「気付き」や「学び」を感じてもらえる良い新年会であった。

### 4. 定時総会の設営

#### 1月定時総会

鈴木茂議長、石田旭副議長のもと開催された1月定時総会では多数のメンバーに協力いただきスムーズな議事進行ができた。「2013年度の決算」「2013年度事業報告」の重要な議案が無事可決された。確認に確認を重ねた総会資料であったが、細心の注意を心がけ作成しなければならないと感じた。細かい部分で確認すること、また繊細に気配りをする事の大切さを感じた定時総会であった。

#### 9月定時総会

佐藤栄作議長、渡邊万里子副議長のもと開催された9月定時総会では多数のメンバーにご参加頂き議事の進行をすることが出来た。「2014年度の補正予算」「2015年度役員候補者選任」「2015年度監事選任」「福島県庁移転に関する趣意書策定」などの重要議案が承認され、2015年度に向けスタートを切ることが出来た。新入会員は、自分で考えきちんとした考えのもと当日の設営に当たることが出来た反面、事前の準備を行っての総会であったが、準備不足の部分もあり、確認と事前準備をしなければならないと気付きを得た定時総会となった。

#### 12月臨時総会

12月臨時総会では、石田旭議長、遠藤雅人副議長のもと2015年度の重要議案の承認を多数のメンバーでご承認頂いた。12月例会・卒業式等の慌ただしい中での準備となったが、委任状の提出など早期に対応しており当日はスムーズに議案に向き合うことができた。一年間、総務委員会として例会・総会を設営してきたが、事前準備の大切さや、当日の臨機応変な対応を学びこれを次年度総務委員会へもれなく引継ぎしより良い設営をしていただきたいと思います。

### 5. 5月例会企画・運営

本年度も約半年が過ぎようとする今、LOMメンバーが「心」をつなぎ「絆」を結び今後の運動へ繋げるために開催された「2014年度5月例会～『絆』の力 スポーツを通じて一致団結～」においては、新入会

員が試合の設えやLOMメンバーをおもてなしする心構えを再度認識し今後に向け良い経験を得ることができた。設営においてはこれに満足せず、今後の例会運営に向け少ないながらも当日感じた不備など検証し後半戦に活かして行く大切さを気付いた例会であった。

#### 6. うねめまつり参加引率

8月8日・9日に開催されたうねめまつりでは多くのメンバーに参加頂き、奈良JCとの交流を大いに図ることができた。両日生憎の雨となったが、踊り流しに参加しまつりを盛上げることができた。懇親会・二次会と新入会員が率先して行動し会を盛上げ、絆を深め今後の友情をつなげる一助とすることができた。当日の設営では、不測の事態や想定外の事態によりつまづく場面もあったが、今後その経験をしっかり活かし、準備を心掛けさらに良い事業の構築に努める覚悟を持つことができた事業となった。

#### 7. 奈良公式訪問

こおりやまうねめまつりの一か月後の9月8日、9日に開催された奈良公式訪問には沢山のメンバーにご参加頂き奈良の地を満喫していただくことができた。奈良采女祭りでは、歴史と伝統を感じて頂くことができ、奈良メンバーの設えのもと行われたエクスカーションでは、特に「もてなしの心」やこれまでの「奈良JCとの友情の絆」などを新入会員には感じてもらうことができ、気付きと学びを得られた引率事業となった。姉妹締結40周年という節目の年に、奈良JCとの友情を再確認し、今後の友情の絆を次世代へ理解し繋げられる一助とすることができた。引率面では至らぬ部分を再度検証し今後に活かし、今後のために良い気づきを得られた事業となった。

#### 8. 卒業式の企画運営

12月卒業式では、16名の卒業生からJCに対する熱い想いをお話し頂き後輩である我々に学びと感動を与えてもらい今後のJC運動と活動への大きな学びとなった。新入会員が中心となり作り上げた送別会では卒業生に対する感謝の気持ちとメンバーへ対するおもてなしそしてご卒業生をともに送り出すご協力を頂き、盛大に開催できた。総務委員会の最後の大きな事業であったが、一年をかけ学んだすべてを出し切ることができた例会となりLOMメンバーすべての方に感謝を申し上げる。

#### 9. 文書発送作業

毎月15日を基本とし現役会員、OB会会員に事業案内等の文書、広報誌等を発送した。

#### 10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会、理事会の会議の設営、議事録作成を行なった。

#### 11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

#### 12. 会員拡大に関する情報収集

総務委員会として、新入会員を中心に次年度新入会員候補者の掘り起しまた、声掛けなど積極的に会員拡大会議へ年間を通して参加した。

#### 13. その他理事長所信に基づき行なう事業

#### ・復興創造フォーラム

3月8日、9日いわきの地で開催された復興創造フォーラムには沢山のメンバーにご参加頂いた。当日は約3000名のメンバーが全国より集い東日本大震災合同追悼式が行われ多くのメンバーで復興に向け気持ちを一つにすることができた。また、Buy made TOHOKU物産展も開催され、グリーンカレーの提供もメンバーの協力のもと完売することもできた。急な対応もあったが、参加頂いたメンバーの協力により滞りなく参加引率が多かった。

**金剛不壊～ひかり輝く灯となるために～**のスローガンのもとLOMの要となり、活動と運動の下支えをして参りました。

年間を通じ、総務委員会は各種事業へ積極的に参加し、LOMメンバーとのコミュニケーションを率先して図り大いに絆を結ぶことができました。50有余年のLOMの歴史やその伝統を培ってこられたOBの諸先輩へ尊敬の念を持ちコミュニケーションを図り学びを得、より良い関係を構築することができました。奈良JCとは、姉妹締結40周年を迎え互いのうねめまつりによる交流で新入会員同士の交流と我々メンバー同士の交流をさらに図ることができました。

一年間総務委員長として、LOMの新入会員を預かり53年間先輩方が培われてきた歴史と伝統を次世代へ繋げることができ本当に感謝しております。今年、強固に力強い総務委員会にしたいという想いで一年間頑張っておりましたが、新入会員にも恵まれ本当に強い絆を作ることができました。一生の宝と感じております。お声掛け頂きました二瓶理事長、菅野専務に御礼を申し上げ報告とさせていただきます。

# 2014年度 会員ひとづくり委員会

委員長 森尾 興史  
副委員長 橋本 有市

★委員会スローガン

## 『未来能力』

～共に成長し、同志に呼び掛けよう！！～

### ★事業方針

1961年に産声を上げた郡山青年会議所は、明るい豊かな社会の実現に向けて現在まで襷をつないできた。1990年代にバブルが崩壊し日本の景気後退が20年余り続くなど様々な要因により、当青年会議所は今もなお会員の減少傾向が続いてきている。そんな最中に2011年の東日本大震災が起こり、絆とコミュニケーションの大切さを再認識することとなった。「心の再建時代」と言える現在、私たち青年一人ひとりがもっと人間力を高め、魅力あふれる存在に成長する必要がある。

会員ひとづくり委員会は、明るい未来の実現に向けて大きな兆しを創り出すために3つの灯をともしていく。1つ目に、人間力や経営学の向上のための設えをする。新入会員オリエンテーションでは、志を高く持つ青年たちに三信条の精神の意義を継承し、同じ意識のもと切磋琢磨して1つの事に取り組むことの重要性を認識していただく。また、人間力や経営学の向上のための企画を実行し、成長の糧となるきっかけづくりを行う。2つ目に、同志づくりの構築である。現役会員やOB会員はもとより出会うすべての一般市民の方々に会員拡大の熱意を伝え、仕事でもプライベートでも協力し合える関係づくりを強固にすべく、圧倒的な会員拡大を呼び掛ける。3つ目に、OB会員との新たな交流づくりである。現役会員一人ひとりが意識高揚しOB会員と向き合い更なる交流を深めるよう、コミュニケーション能力の向上の場を設け率先して行動することの重要性を呼び掛ける。また、私たち現役会員が何れ卒業しOBとなった際に「是非、現役会員と交流したい」と思えるような環境づくりに努め、礼節を重んじながらも和気あいあいと世代の垣根を越えて懇親を深めていける場を提供する。

様々な気づきや学びを通じ共に成長することで、私たち郡山青年会議所メンバーは未来に向けた魅力あふれる存在となり、やがて大きな灯となる。そうすることで、人を引き寄せる会員拡大へとつながり、心の通う笑顔と活気あふれるこおりやまを創造する。

### ★事業計画

	〔開催予定月〕	( 事業予算 )
1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同)	[ 2月 ]	( 51,000円 )
2. 4月例会チェリーパーティーの企画運営	[ 4月 ]	( 50,000円 )
3. 6月例会の企画運営	[ 6月 ]	( 285,000円 )
4. サマーコンファレンスへの引率	[ 7月 ]	( 0円 )
5. OB・現役交流会	[ 6月、10月 ]	( 0円 )
6. 会員拡大に関する情報収集	[ 通年 ]	( 0円 )
7. 会員拡大会議	[ 通年 ]	( 0円 )
8. その他理事長所信に基づき行なう事業	[ 通年 ]	( 0円 )
	事業予算合計	( 386,000円 )

### 参考：会員募集スケジュール

月	会員拡大実行内容
2013. 12月	2013年度会員拡大候補者のリスト精査
2014. 1月	個別目標設定・各委員会への紹介ご依頼
2月	リスト作成
3月	リスト作成&個別面談
4月	リスト作成&個別面談
5月	リスト作成&個別面談
6月	リスト作成&個別面談
7月	個別面談・説明会準備
8月	個別面談・面接実行

9月	説明会実施・面接実行
10月	説明会実施・面接実行
11月	説明会実施・面接実行
12月	個別面談・面接実行

## ★ 事業報告

### 1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）

人間力開発セミナーでは佐藤徹哉OBを迎え、『復興、そして、未来へ！』をテーマに地域における震災直後から現在までの復興へ向けての取り組みや未来へのビジョンについてご講演いただきました。能力開発セミナーでは委員会メンバーが講師を務め、「もしも…だったら」というお題で妄想自己紹介を行い発表するトレーニングをし、ヘリウムリングを通して他人とのコミュニケーションのあり方について学ぶ機会となりました。居酒屋の亭主には、ご卒業後も地域の活性化並びに地域経済の発展にご尽力されている先輩方をお招きし、地域や各々の未来へのヴィジョンについて大いに語り合い、現役会員が『夢』を描くきっかけの場となりました。新入会員も現役会員もそれぞれの立場で新たな気づきと学びを得ることができ、今後のJC運動に役に立つ事業になったことと思います。

### 2. 4月例会・チェリーパーティーの企画運営

チェリーパーティーにおいては桜が室内から直ぐに見える会場で行いました。乾杯の後には「奈良JCとの姉妹JC締結40周年の歩み」と題しDVD映像を上映し、懐かしさと歴史を改めて感じる機会となりました。食事の後半には会場の外に足を運んでいただき満開の夜桜を楽しんでいただくことができました。事業計画にも掲げていた、礼節を重んじながらも和気あいあいと世代の垣根を越えて懇親を深める場を提供することができ、OB会会長を始め多くのご参加いただいたOBの皆様が笑顔に溢れ喜んでいただき、チェリーパーティーという名前に相応しい雰囲気づくりを作り出すことができました。

### 3. 6月例会の企画運営

人間関係において必要不可欠なコミュニケーションに役に立てていただくために五日市剛氏をお招きし、『素晴らしい人生をつくる魔法の言葉』と題し講演をいただきました。現役会員52名、一般市民121名という多くの参加者に様々な気づきや学びを感じ取っていただき自己意識を高めるためのきっかけとなることができました。

### 4. サマーコンファレンスへの引率

サマーコンファレンスにおいては遠征事業にもかかわらず40名という多くの方に参加していただきありがとうございました。日本青年会議所の考え方や方向性に対する認識を深め、地域、国、世界に属している者として何をしなければならないのかを学ぶことができました。LOMナイトでは終始和やかなムードで参加者同士仲良く懇親を深め、二次会のクルージングでは横浜港から横浜の夜景が一望でき、日頃から運動を共にしているメンバーと思い出となるひとときを共有することができました。

### 5. OB・現役交流会

本年は現役会員一人ひとりが意識高揚しOBと向き合い更なる交流を深めるよう、名前を変更しOB・現役交流会として2回に分けて開催しました（1回目：～平成3年入会、2回目：平成4年入会～）。記念品としてmy箸を配布し、デザインをシックにまとめ気軽に持ち運べ喜ばれるものを準備させていただきました。第1回、第2回では懇談の合間にDVDによる記念映像を上映し、第2回にはじゃんけん大会を実施しOBの皆様喜んでいただきました。

### 6. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大のセミナーに積極的に参加し、優秀拡大率支援ブロック賞第1位を取っている山形ブロック協議会2013年度会長鹿又氏と副会長鈴木氏のセミナーから学んだスキルを積極的に活用し、本気度をLOMメンバーに訴え続け2月末までに220名の候補の情報を収集しました。また、いただいた情報を基に現役会員、OB会会員に聴いて情報の質の向上に努めました。

### 7. 会員拡大会議

各委員会から出向いただいた皆様により上記セミナーで得たスキルを伝達し、各委員会へ確実に落とし込み、多くの候補者の情報を収集しました。どうしたらLOMメンバーが本気になるか、どうしたら入会するのか、どういうフローで勧誘を進めていくのか、どういう情報が必要か等、様々な手法を会員拡大会議内で精査し、多くのメンバーから活発な意見をいただき、それを実行に移していきました。

## 8. その他理事長所信に基づき行なう事業

理事長所信にも掲げている「夢を叶えるひとづくり」にもある“圧倒的な会員拡大を達成する”ために、青年会議所の良さである「修練」・「奉仕」・「友情」という三信条を通して得る『絆』の力の重要性をご紹介いただいた候補者一人ひとりに発信していきました。また、郡山青年会議所がどのような事業を実施しているかまだまだ認知度が低く誤解を招いている傾向にあるため、個別面談の際に候補者向け説明資料を配布しJCをまずは理解してもらう努力を行いました。候補者リストは随時更新し、委員会内で候補者の担当を決め一人ひとりが情報提供者に電話連絡していき、情報提供者には候補者との個別面談までのアポイントを協力していただくという手法を実施しました。例会での会務報告や様々な事業後の懇親の場では、今の郡山青年会議所の会員減少傾向に歯止めをかけるために必死に訴え続け、いただいた候補者の情報に対するレスポンスを早くしっかり行う様に努めました。

本年は入会者の目標を30名と掲げ下方修正せずにモチベーションを維持させることが最大の課題でしたが、6月までに5名が入会し本年度新入会員の補填を行い、7月以降に19名が入会し、合計24名を入会まで導きました。会員拡大のカギは、如何に早い段階で始められるか、委員会メンバーが本気に取り組めるか、そして本年度の本気度をLOMメンバー一人ひとりが感じ取り当事者意識を持ち会員拡大のためのコネクションを提供してくれるかで決まるのだと痛感しました。そういう意味では本年度は、6月までの上半期を随時入会としたこと、17名の現役会員が卒業するという危機感を皆で共有できたことは大きかったと思います。来年度以降も当事者意識を持ち取り組んで参りたいと強く感じました。

会員拡大をしていて感じたことは、郡山青年会議所に関心を持っている方は予想以上に多いが声を掛けてもらわないと入るタイミングが無く入会に至らないということ、そしてOBのご子息には多くの潜在能力の高い方が多い一方で入会に躊躇っているということです。多くの候補者と話をして郡山青年会議所という団体の活動・運動内容をご理解いただき、コミュニケーションを深めていくことで疑問や不安要素を払拭することができ入会するのだと思いました。

最後に、ご指導とご鞭撻、ご協力を賜りました諸先輩、そして私の本気に正面から向き合い一緒に行動してくれた会員ひとづくり委員会メンバー、皆様のお陰で目標達成に向けて最後まで突き進むことが出来たと確信しております。私たちが導き出した新入会員が『未来能力』として大きく羽ばたくことを期待します。一年間ありがとうございました。

# 2014年度発信力創造委員会

委員長 石津 幸司  
副委員長 阿久津 圭亮  
★委員会スローガン

## 有志竟成

～発信力の創造による更なる飛躍を求めて～

### ★事業方針

私たち郡山青年会議所は、心の通う笑顔と活気溢れるこおりやまの創造に向けて日々活動を展開している。その活動内容をより多くの人々に伝え、我われの運動の意義・本質を理解していただくことが重要である。今年度、発信力創造委員会は「真の発信力」とは何かを1年間かけて検証・考察し郡山青年会議所の活動を効果的に伝えられる仕組みを創造していかなければならない。

そのために、ホームページの仕組み・あり方・活用を一新して迅速な更新を心がけ、多くの人々に関心・興味を持っていただける内容を創造する。広報誌については新たな配布先を見直してより多くの人々へ向けてJC運動を発信する。さらに、発信力の強化としてこれまでの事業へ参加していただいた方や、本年度の事業へ新たに参加される方・我々の活動に関心を持っている方を対象に事業の案内・参加を呼びかけるメールを配信するためのリストを作成する。また、長年に渡り郡山市の教育文化・青少年事業に貢献してきた「久米賞・百合子賞」については、我われ自身、歴史・伝統を再認識して、その成果を多くの人々へ発信することで継承発展させる。

「真の発信力」を創造していく中で多くの人々と「絆」を築きあげ、互いに「学び」を深めて『心の通う笑顔と活気溢れるこおりやま』の創造と郡山青年会議所の更なる躍進へと繋げていく。

### ★事業計画

	〔開催予定月〕	( 事業予算 )
1. 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナーの実施 (室合同)	〔 2月〕	( 0円)
2. 2月例会の企画・運営	〔 2月〕	( 30,000円)
3. 第53回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置	〔 2月〕	( 0円)
4. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参	〔 3月〕	( 16,000円)
5. 福島ブロック大会引率 (いわき)	〔 7月〕	( 0円)
6. 11月例会の企画・設営	〔11月〕	( 50,000円)
7. 第53回「久米賞・百合子賞」授賞式	〔11月〕	( 0円)
8. 広報誌発行	〔 1月、5月、8月、12月〕	( 310,000円)
9. ホームページ作成・運営管理	〔 通年〕	( 154,000円)
10. メールアドレス・メーリングリストの管理	〔 通年〕	( 0円)
11. LOM事業の取材	〔 通年〕	( 0円)
12. 会員拡大に関する情報収集	〔 通年〕	( 0円)
13. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔 通年〕	( 0円)
	[事業予算合計]	( 560,000円)

### ★事業報告

#### 1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施 (室合同)

新入会員オリエンテーションにおきましては、多くのメンバーに参加・ご協力いただき誠に有難うございました。人間力開発セミナーでは、日頃から地域の活性化にご尽力されている佐藤徹哉OBから復興へ向けての取り組み、郡山市の未来ヴィジョンについてご講演いただきました。新入会員の皆さまもちろん、現役会員にとっても改めて郡山青年会議所の歴史や伝統・意義を学ぶ良い機会となりました。

#### 2. 2月例会の企画・運営

郡山市長 品川萬里氏を講師にお招きし、「未来(あした)に向けたまちづくり」と題した講演会であり、これからの郡山の市政についての方向性を郡山市民・各種団体と共有する機会となった。また質疑応答では、一般参加者からの質問に対し、市長が丁寧に応えることで、行政と市民が交流する場を設けることができた。我々自身も多数の気づきを得た。

### 3. 第53回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置

昨年に引き続き、広報が「久米賞・百合子賞」の担当委員会となった。今年度もまた久米賞の正賞は出なかったのが残念であるが、審査員の先生方によると「二次選考に残る作品のレベルは年々上がっている。正賞まであと一歩という作品も少なくない」とのことなので、今後に期待したいと思います。

### 4. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参

勉強会において、久米正雄先生・宮本百合子先生の郡山との関わりや、当時の郡山市の歴史や文化を知ることにより、その後の墓参もたいへん有意義なものとなりました。天候の悪い中、参加ご協力して頂いたメンバーの皆様に感謝を申し上げます。

また、久米正雄先生のご親族である久米和子様には、入院中にも関わらず（公社）郡山青年会議所の為に様々な便宜をはかって頂いたこと、この場を借りて報告させていただきます。今回の勉強会・墓参で得た気付きを基に「第53回久米賞・百合子賞」の更なる飛躍へ繋げて行きたいと思えます。

### 5. 福島ブロック大会引率（いわき）

多くのメンバーの方々に第44回福島ブロック大会に参加頂きまして感謝申し上げます。今年は「意気あふれる人材と繋がる心によるたくましいふくしまの創造」のスローガンのもと、県内19LOMが一堂に集まり、「心」と「絆」の力を深め、また、ブロック協議会へ出向しているメンバーを支援することができました。今回の経験を、今後のJC運動へ活かしていければと思います。

また、大会スケジュールの最終確認に不備がございましたことお詫び申し上げますと共に、頂いたご意見は今後の事業に繋げていきます。第44回福島ブロック大会inいわきへのご参加、本当にありがとうございました。

### 6. 11月例会の企画・設営

会場が安積歴史博物館ということで、郡山市内の伝統ある建造物をPRできる機会となった。反面、防寒対策・交通の利便性など今後課題を残すこととなった。

### 7. 第53回「久米賞・百合子賞」授賞式

現役会員メンバー及び委員会メンバーに協力をして頂き、無事に受書式・講演会を終了することが出来た。受賞者の方々の喜ぶ顔や保護者の方々の喜ぶ顔、また各学校の先生からの感謝の声をいただき、この事業の重要性を感じる事が出来た。今年度は、久米和子氏も横浜から授賞式へ参加をしていただきとても思い出に残る授賞式となった。講演会においても「あばれはっちゃく」で有名な山中恒氏のお話を頂き、幅広い年代の市民が講師の話聞きに来場した。1年を通じて多くの関係者にご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。

### 8. 広報誌発行

『心を紡ぐ「絆」発信！』のタイトルで年間4号発刊した。8月号の理事長対談では、復興大臣としてご活躍中の根本匠先生と二瓶理事長の対談を掲載。

郡山青年会議所の活動報告だけでなく、福島県の復興についてもPRすることができた。

### 9. ホームページ作成・運営管理

WordPressというシステムを導入することで、例年よりも手軽にホームページの更新が可能となった。Facebookでもほぼリアルタイムで情報を発信することで、郡山青年会議所の活動を広く発信することができた。

### 10. メールアドレス・メーリングリストの管理

現役メンバーのメールアドレス管理及びメーリングリストの管理を行なった。今年度、二瓶理事長のアイディアで、各メンバーが自己紹介する「絆」メールを行なったことで、例年以上に有効に活用することができた。また、フードフェスタにおいては、フードフェスタ担当委員会専用のメールアドレスを作成したことで、担当委員会内の情報の共有や、応募されたレシピの管理、市民からの問い合わせに柔軟に対応することができた。ただ、メンバーの一人が設定を誤っていたため、一時期受信メールが共有できなくなるというトラブルが発生した。

### 11. LOM事業の取材

全ての事業に参加し、事業内容の取材、写真撮影、Facebookを利用したリアルタイムでの情報公開など広報活動を実施した。

### 12. 会員拡大に関する情報収集

広報誌に会員募集の記事を掲載、ホームページにも会員募集のページを設置など、会員拡大につながる取り組みを行った。

### 13. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年度は、郡山青年会議所の運動の意義・本質を理解していただくことが重要であると考え、「真の発信力」とは何かを一年間かけて検証・考察して参りました。広報誌についてはより多くの人びとが集まる場所、ホームページについてはより分かりやすくレイアウトや速やかな更新が出来るようにシステムを変更しました。また久米賞・百合子賞も担当させていただき多くの学びや気づきを得ることが出来ました。発信力創造委員会の委員長を経験してとても有意義な一年間でした。二瓶理事長に、心より感謝申し上げます。

# 2014年度 心の通うまちづくり 委員会

委員長 高橋 久紀  
副委員長 石井 朋之  
★ 委員会スローガン

## 進取果敢

～新たな地域を創造するまちづくりへ～

### ★ 事業方針

私たちの住むまちこおりやまは、商業都市として発展してきた。しかしながら、バブル崩壊後、地域の衰退が目につき、経済の疲弊は深刻な問題となっている。また、東日本大震災と原発事故が発生し、地域の衰退・疲弊の傾向をさらに強め、人口減少に拍車がかかっている。そこで、郡山青年会議所は、地域を活性化させ、人々に活力を与えるため、今一度メンバー一人ひとりがまちづくり運動を実践する必要がある。

当委員会は、こおりやまを、人々の心が通う笑顔と活気溢れるまちとするために、生活の源となるまちに根づく食に着目した事業を展開する。地域の食を見直す事業をし、地域の新しい食を考え、まちの発展、地域の発展につながる事業を行う。また、事業を行うにあたっては、市制90周年を迎える郡山市との連携を図りながら、食興しからまち興し、地域発展を模索し、市民と地域の絆を深め、全市民一丸となるような運動を行っていく。

以上の事業を行うことにより、こおりやまを活性化させ、こおりやまの魅力を発信する。そして、食を通じて、最終的には全市民一人ひとりの意識とまちに変革を与え、新しいまちを創造し、その発展に寄与していく。

### ★ 事業計画

	〔開催予定月〕	( 事業予算 )
1. 京都会議引率	[ 1月 ]	( 0円 )
2. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動	[ 6月、10月 ]	( 0円 )
3. 食に関する事業 (レシピ事業、フェスタ事業) (仮)	[ 6～8月、9月 (仮) ]	( 2,600,000円 )
4. 8月例会企画運営	[ 8月 ]	( 40,000円 )
5. 東北青年フォーラム引率	[ 9月 ]	( 0円 )
6. 10月例会企画運営	[ 10月 ]	( 40,000円 )
7. 会員拡大に関する情報収集	[ 通年 ]	( 0円 )
8. その他理事長所信に基づき行なう事業	[ 通年 ]	( 0円 )
事業予算合計		( 2,680,000円 )

### ★ 事業報告

#### 1. 京都会議引率

2014年度のスタートとなる京都会議では、生で会頭の所信を聞くこともでき、青年会議所メンバーとしての自覚と気概を高めることができた。1月24日の金曜日には地区ナイトにも参加し、25日の土曜日には奈良青年会議所と合同LOMナイトを開催し懇親を深めることができた。参加いただいた新入会員には、トーキングオーバーナイト等を通じてJC活動と運動の基本を理解してもらい、その他のメンバーも本遠征事業を通じて絆を深め、こおりやまの創造に向けた第一歩を踏み出すことができた。

#### 2. 福魂祭

福魂祭実行委員として、次年度段階から毎週実行委員会に参加し、各団体との連携や調整を踏まえて福魂祭を成功させることができた。ピックパレットに600個のキャンドルを用いて絆の文字を描いた。本事業により福島の真の復興に向けた大きな発信をすることができたと確信している。ご協力いただいたメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。

#### 3. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動

二度に亘り堂前方面、中町陣屋方面、中町本町方面を清掃した。たばこの吸い殻や人が集まっていたところに空き缶などのゴミが散乱している箇所が見受けられた。一般市民それぞれが美意識を高く持ち、まちの美観を維持することがまちの安定と活性化に繋がるのではないかと考えている。我々JCメンバーは一般市民のモデルとなる様率先して清掃運動もしていかななくてはならないと感じた。

#### 4. 食に関する事業（心のレシピ&郡山フードフェスタ事業）

本年度例会企画運営も含めて食に関する事業を一貫して開催させていただいた。メイン事業の各報告は以下の通りであるが、多くのメンバーの臨機応変な対応・協力と関係各団体等の協力により無事成功させることができたのではないかと考えている。ご協力いただいた全ての方に本当に感謝申し上げる。

##### (1) 心のレシピ事業 募集、趣旨説明会並びに講演・講習会

心のレシピの趣旨と応募方法を一通りの説明させていただいたが、一般市民の参加者が少なかった。講演会の内容はユーモアに富んだ非常に素晴らしいものとなり、楽しい雰囲気の中、郡山の食を勉強することができた。説明会の必要性はあったと感じているので、今後説明会や講習会を行なう場合、内容や方法、日時、参加依頼や広告を良く検討し、一般市民が何を求めているのかを探求していくことを伝えていく所存である。

##### (2) 心のレシピ事業 食に関する魅力再発見 見学開催

心のレシピの応募の参考にするためにも、郡山の食を代表する企業（宝来屋、酪王乳業）を訪問した。見学事業は非常に需要のある事業であり、予算もそれほど掛からない事業なため今後当青年会議所で事業を行なう際の選択肢の一つに考えても良いのではないかと考えた次第である。見学事業の参加者からも5作品、心のレシピに応募していただいたことは事業担当者としては非常に嬉しく思ったところである。本事業により参加者は郡山の魅力をより身近に実感でき、郡山の食を改めて考えることができたのではないかと思う。

##### (3) 心のレシピ事業 選考並びに冊子作成

応募作品266作品の第一次選考を行い郡山子どもの給食部門、郡山大人のフロンティアフード部門の両部門の上位7作品を第二次選考（試食選考）し、郡山フードフェスタで一般市民の投票により大賞を決定した。冊子（レシピ作品集）も作成し、配布させていただいたが配布先から好評の声も頂戴し、成果物として冊子も作成し、郡山の食を考え、食によるまちづくりも重要であることを一般市民や自治体、関係各団体に伝えることができたのではないかと思う。

##### (4) 郡山フードフェスタ開催

天候にも恵まれ一般市民を中心に延べにして約1万人が参加した。関係各団体の協力と全てのメンバーが臨機応変に対応してくれたことの結果である。ステージ企画、ポケモン、似顔絵、スタンプラリー、飲食店ブース、そして無料試食コーナー。一つ一つの企画が繋がって無事成功させることができたのではないかと思う。秋にまちなかで本事業のような食の祭典はなかったので、一般市民は本事業のような食の祭典を求めているのかも知れないと感じた。

試食コーナーも午前の部も午後の部も30分も経たずに全て配布を終了し、歩行者天国に行列ができた光景を見たとき、心のレシピ&郡山フードフェスタ事業を開催して本当に良かった、報われたと感じた。新しい試みかつ大きな事業だったが、JCだからこそできた事業であり、JCの素晴らしさを実感すると共に、メンバーの絆の力により新しいこおりやまのまちづくりの創造に向けてのきっかけやヒントを与えることができたのではないかと確信している。

#### 5. 8月例会画運営

郡山産の野菜の魅力 農業からまちおこしをテーマとして、現在の郡山の農業に関する問題、郡山の地域の特性の紹介、食によるまちづくりへのヒント、他地域との連携など非常に多くのことを学ぶことができた。我々のJC運動に活用できる視点も多々あり、まちづくり運動のヒントを得ることができた。食による講演により、新たな知識とヒントを得ることで、今後のまちづくり運動に活かすことができたのではないかと実感しているところである。

#### 6. 東北青年フォーラム引率

結いの精神をスローガンに掲げた酒田の方々の心遣いが溢れる素晴らしいフォーラムだった。東北の地域の魅力もパネルディスカッションやゼミナールの発表でも学ぶことができた。人と人の絆、地域と地域の絆、人と地域の絆の大切さも改めて認識させられ、まちづくりとひとづくりの根本に立ち返ることができた遠征事業となった。出向者の活躍する姿も見ることができ、多くのメンバーに参加していただいたことを引率担当者として深く感謝申し上げます。

#### 7. B-1グランプリ in 郡山～東北・福島応援特別大会～開催協力

主催者発表によると二日間で45万3000名と全国各地から多くの方が参加した郡山で類を見ないイベントとなった。B-1グランプリでのボランティア活動を通じて郡山のまちを見つめ直す事ができたと思う。他地域の魅力やソウルフードも知ることが出来た素晴らしい事業であった。大規模事業ならではの難しさを実感した部分もあるが、メンバーが各自柔軟に対応したことで、大きな問題を生じることなくB-1グランプリの成功に貢献できたのではないかと思う。また、B-1グランプリを通じて、市民がイベントに参加した場合に知りたがる情報や質問の傾向なども学べたことも有意義だった。協力いただいた多くのメンバーに感謝申し上げます。

#### 8. 10月例会企画運営

当委員会の最後の事業となった。講師からは長寿であるためには食が大事、あずきとお茶の組み合わせが良いなどバラエティの富んだ話を聞くことができた。パネルディスカッションでは、コーディネーター役の尽力もあり無事時間内に終了することができて良かったと実感している。なお、開催日が週明け、開催時間が夕方

の早い時間となったことも影響したと思うが、一般市民100名の参加までにはいかなかった。一般市民が参加しやすい日にち、時間帯も非常に重要であり、また講師と講演内容の選定、講師らの要望を確認して綿密に打ち合せを行なうことも重要だと実感しているところである。食に関する事業は一般市民が興味を持ちやすい分野でもあるし、色々工夫をして、来年度以降も事業を開催していただければと担当委員会としても思っているところである。

# 2014年度 青少年育成 委員会

委員長 佐藤 亘

副委員長 高縁 貴彦

★委員会スローガン

## コミュニケーション！エデュケーション！

～ 輝ける未来に向かって～

### ★事業方針

文化や経済の移り変わりを背景とし、コミュニケーションのあり方は年々変化している。日常生活の中では、共働き夫婦の増加や塾に通う子どもなど時間に追われ、友達同士で遊ぶ時間や家族同士で過ごす時間は短くなり、人と人との暖かいつながりや「絆」は希薄化してきている。

そこで、時間と経験の共有を軸に人間関係を構築することを目的とし、自然・スポーツ・音楽を通じたふれあい、同世代の子ども達や両親とのふれあいを体感できる場を提供し、改めてコミュニケーションと「絆」の大切さについて学んでいく。

また参加した子ども達同士や親子のコミュニケーションを活性化させるとともに、子ども達が今後育んでいく人間関係にもつなげられる学びの場とし、私たち自身も子ども達と同じ体験・経験をしていく中で、新たな気づきや学びを素直に受け入れることにより成長していく事業とする。

それにより、わがまちこおりやまに暖かい「絆」の輪を広げることができる。そして子ども達が将来大人になったとき、「絆」を育んだこの場所を素晴らしいふるさとであると感じ、このまちに生まれて本当によかったと想い、共に笑顔溢れる輝ける未来へ向かって活動していく。

★ 事業計画	〔開催予定月〕	( 事業予算 )
1. 3月例会の企画・設営	〔 3月〕	( 40,000円)
2. 「第49回郡山市こどもまつり」への参画	〔 5月〕	( 80,000円)
3. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所の開催・全国場所への参加引率	〔 5月～8月〕	( 200,000円)
4. 7月例会の企画・設営	〔 7月〕	( 40,000円)
5. 第1回～第4回青少年育成事業の開催	〔 6月～9月〕	( 1,500,000円)
6. 全国大会への引率	〔10月〕	( 0円)
7. 会員拡大に関する情報収集	〔通 年〕	( 0円)
8. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔通 年〕	( 0円)
	事業予算合計	( 1,860,000円)

### ★事業報告

#### 1. 3月例会の企画・設営

公開例会として鳥居徹也氏による「子どもを成長させる魔法～自己肯定感を育む力～」という演台で、ビックパレットのコンベンションホールBにて多くのメンバーそして一般市民にも参加いただいた。刻々と変化する現代社会の中で成長してゆく子どものために、子ども達どのようにして接したらよいか、どのようにコミュニケーシ

ョンをとればよいかという内容と具体例を交えながら、わかり易く講演いただき、我々青少年育成委員会メンバーも今後の事業への学びを得る事業となりました。

## 2. 「第49回郡山市こどもまつり」への参画

近年は開成山公園のサブグラウンドで行っていたが、来年2015年が50周年目を迎えるこどもまつりということもあり、本年は一般企業からのボランティア等も受け付けた、参加団体が増えたことにより我々は開成山野球場でのとなったが、多くの子どもたちにビックリコーナーを楽しんでもらうことができました。

## 3. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所の開催・全国場所への参加引率

本年は福島ブロック大会が郡山で行われる年であったため、次年度段階から郡山相撲協会と連携をとり、協力しながら郡山大会及び福島ブロック大会の準備を進めてきた。郡山大会においては多くの参加者が集まり上位に残った6名が、郡山の代表として福島ブロック大会への出場となったが、福島ブロック大会においてもその6名全員が勝ち残る結果となり、わんぱく相撲全国大会には郡山から福島県代表として2チーム参加し、我々メンバーや家族と一緒に声援を送りました。相撲は、健全なスポーツとして勝ち負けにこだわらず、相手を思いやる心を重視し、心・技・体を基本に指導する、我々もこの事業を通じ、健全な子ども達の育成に今後も関わっていくうえで素晴らしい経験をすることができました。

## 4. 7月例会の企画・設営

今まで前例がなく初めてヨガをとり入れた講演会となりベルヴィ郡山館にて行った。日頃疲れているメンバーが仕事に家庭にそしてJC運動を続けていくには日々体調を整えておかなければならないと改めて実感し、参加いただいたメンバーにもリラックスした表情が伺えた。計画では参加する子どもの年齢にあわせたヨガの内容を講師と打ち合わせし準備していたが、思うように参加人数が伸びず、子どもの参加がいなかったため残念ながら準備していた内容を披露できませんでした。7月例会は次年度理事長発表の場であり多くのメンバー、OBにもご参加いただきました。

## 5. 第1回～第3回スマイル・キッズ・アドベンチャーの開催

委員会の事業計画段階では1回～4回の青少年育成事業と計画していたが、実際には第1回～3回スマイル・キッズ・アドベンチャーとして事業を行いました。応募の段階から参加希望者が多く、定員の50名で締切りしました。第1回目はミューカルがくと館にて初めて会う子ども達同士でコミュニケーションを図る場とし、保護者に対しても説明会を行いました。子ども達がこの事業をととても楽しみにしてくれていると感じました。第2回目は郡山市少年湖畔の村にてキャンプや農業体験を通じ、郡山の自然環境を楽しく学びながら仲間と時間と経験を共有し、次回に繋げることができました。第3回目は奈良JCとの姉妹締結40周年記念事業として、郡山と奈良の子ども達の未来へ繋がる交流を目的としておりましたが、歴史的建造物の見学、なら燈花会体験、鹿せんべいとばしなどを行い、奈良の歴史と文化を感じながら気づき学びを得、未来の親善大使として絆を育むことができました。1回～3回の事業において多くの方々のサポートがなければ達成できない事業でした、本当にお世話になり皆様には感謝申し上げます。

## 6. 全国大会松山大会への引率

今年度は遠く愛媛県松山の地で行われた大会にも関わらず、多くのメンバーでの参加となり、特にご卒業生は12名も参加いただいた。ご卒業生にとって思い出に残る、そして他メンバーにとっても楽しみながらも学びのある設営を心掛けていたが、なんとか天候にも恵まれ、スケジュールや移動に大きな問題もなくスムーズに引率を行えたのも皆様のお蔭でありました。松山の歴史と文化、そして「ことばのちから」で盛り上げるまちの雰囲気も存分に感じていただき、無事引率を行うことができました。

## 7. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大会議には二瓶孝吉委員が参加し候補者の情報共有などを積極的におこなった、委員会においても新入会員候補者について落とし込みを行い、情報収集や新入会員候補者との面談を行いました。

## 8. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年もPEP Kids Koriyama（ペップキッズこおりやま）の支援協力として、月に1回ボールプールの清掃協力を行いました。この協力により子ども達がおもいきり安全に遊べて笑顔につながったものと考えます。

室合同では、昨年に引き続き、本年も3月に福魂祭が開催され、でキャンドルナイトの設営を担当させていただきました。今年はビックパレットにて「絆」の文字を作成し、多くの市民に復興への思いを共有していただくことができました。また今年は郡山において「B-1グランプリ大会～東北・福島応援特別大会～」が開催され協力致しました。県内外から多くの方が訪れ、震災の風化防止、風評被害払しょくを図るとともに、福島県の魅力を全国に発信し、産業や観光の振興とまちの活性化へ繋げることへの協力ができました。

最後に、「コミュニケーション！エデュケーション！～輝ける未来へ向かって～」の青少年育成員会スローガンのもと、委員会内で多くのアイデア、意見を出し合い一年間行ってきました。様々な事業を通じて、子ども達のみならず我々自身もコミュニケーションと「絆」を育むことができ、気づきと学びを得た一年間でありました。何よりも事業の中でたくさんの笑顔が溢れていたことが一番であり、未来へ繋がるものと信じております。LOMメンバーはもちろん各種団体の皆様からのご支援、ご協力いただき皆様には心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。